

三行政区に跨る都市型交通結節点の改善に向けた提案

- 飯田橋駅・飯田橋交差点を中心とする住民参加型の調査と検討を通して -

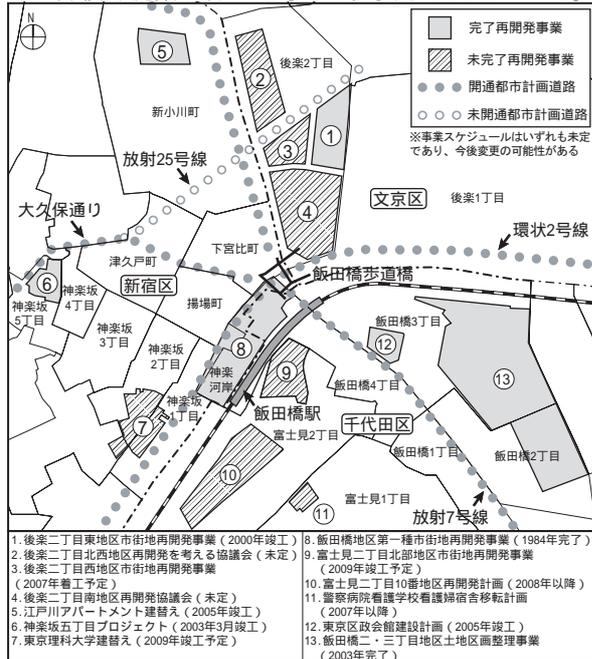
東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻
大平 哲司

1. 背景と目的

地方分権一括法に基づく、都市計画法改正により市区町村の権限が大幅に拡充され、今後特別区においても都市計画事業における自主裁量権はさらに拡充し、政策が個別に進行することが予想される。従って、複数の管轄行政主体が複雑に絡み合う行政区境における都市交通施設では、区域を跨ぐ地域住民や利用者の意見が一元的に集約されず、問題解決がますます困難になることが考えられる。そこで本研究では、行政区を跨ぐ地域に形成された交通施設に生ずる問題点を明らかにし、その改善策の提案を行うことを目的とする。

東京 23 区の区境地域に着目すると、鉄道、幹線道路、河川、横断歩道橋、高速道路といった交通施設が区境を跨いで輻輳しているのは、文京・新宿・千代田三区の区境が結節する飯田橋駅周辺地域のみである。さらに、当地域では複数の市街地再開発事業が進行・検討中であることから（図 1）、今後更なる乗降客数、昼間人口の増加が予想されている。上記理由より、本研究では飯田橋駅周辺地区を対象とした。

なお、既往研究では、鉄道駅を中心とした地区の歩行空間整備に関して論じたもの^{1,2)}、はみられたが複数の行政区に跨る地域的な問題や交通施設に着目し、その評価や提案を行ったものは見受けられなかった。



2. 調査概要

本研究では、飯田橋駅周辺の 19 町³⁾を対象地域として文献・資料・ヒアリング調査を行った。さらに飯田橋駅周辺三区の各地元住民組織⁴⁾の協力のもと、居住者・勤務者を対象に飯田橋交差点・駅に関するアンケートを実施した（表 1）。

3. 研究方法

- 本研究は以下の手順に従い考察・提案を行う。
- ①区境に跨る地域では各区の整備方針や管理主体および、再開発動向に差異が見られることから、各種行政資料、事業関連資料より、現況把握を行う。
 - ②対象地域の居住者および勤務者を対象にアンケート調査を実施し、区境に跨る交通施設に生じている問題点を把握し、設計条件の確定を行う。
 - ③①-②をもとに設計条件の確定を行い、地域住民参加型の検討過程を経て（表 1）、提案を作成する。

4. 調査結果に基づく設計条件確定のための諸検討

4.1 歩行経路と飯田橋歩道橋の問題点

4.1.1 歩道橋利用者と管理主体の相違 交差点の歩行経路に着目すると、文京区後楽町の歩道橋利用率が 88.7%と高い割合をあらわしている（図 2）。一方、新宿区下宮比町からは歩道橋を回避する人数が利用者数を上回った。千代田区では回答者の 48%が歩道橋を使用しないと答え、日常的な歩道橋の利用頻度は 7%と低い。このように歩道橋利用者は文京区の住民や勤務者が最も多く、利用時の問題も多い。歩道橋は新宿区内が所管である東京都第三建設事務所が管理しており、問題点の生じている文京区は第一建設事務所の所管区域と、本橋が区境に跨るが故に実際の利用者と管理主体が異なるという事態が生じている。

また歩道橋利用者の指摘する問題点は、主に「幅員不足」、「階段昇降に伴う身体的・精神的苦痛」、「歩行

表 1. 調査概要

	文京区		新宿区		千代田区	
	居住者	勤務者	居住者・勤務者	居住者・勤務者	居住者・勤務者	居住者・勤務者
アンケート	2003年		2004年		2004年・2005年	
対象地区	後楽1丁目、2丁目		播磨町、神楽河岸、下宮比町、新小川町、津久戸町、塚土八幡町、東五軒町		飯田橋2丁目、飯田橋3丁目、飯田橋4丁目、富士見1丁目、富士見2丁目	
配布枚数	1,980枚	2,000枚	1,988枚	3,000枚		
回収枚数	458枚 (23.1%)	1,118枚 (55.9%)	969枚 (48.7%)	834枚 (27.8%)		
ヒアリング	2004年 東京都建設局（東京都における横断歩道橋の現況について）					
資料	都立文京盲学校：教員1名、生徒5名					
住民参加型検討	開催日	出席者（地元住民組織役員など）				主な検討内容
	第1回 2006.11.14	新宿区：4人、千代田区：5人、文京区：4人				デッキの歩行経路・形状についての検討 飯田橋を基点とした水運についての検討
	第2回 2006.12.14	新宿区：4人、千代田区：3人、文京区：4人				駅・駅上広場についての検討 垂直動線に関する検討
	第3回 2007.1.26	新宿区：4人、千代田区：4人、文京区：3人				既存建物の屋上利用・接続について プラットフォームについて

中の振動による不快感」の3点に集中しており、このうち振動に関しては、本橋の歩行時振動感覚に関する問題点が既往研究で指摘されている⁸⁵⁾。以下では、「階段昇降」と「幅員」の2点について考察を行う。

4.1.2 管理主体の相違と整備の課題 階段昇降の改善策として、歩道橋への昇降機設置が考えられる。東京都管轄の既存歩道橋に昇降機を設置する場合、設置後の維持管理費は各自治体が負担することになるが⁸⁶⁾、三区に跨る本橋では、区による歩道橋利用実態の差違や設置箇所による管理主体の差違があり、設置を困難なものにしている。従って、設置箇所を管轄する自治体が維持管理費用を負担するのではなく、利用実態に基づき、区境にとらわれないことと費用負担率を決定するなど、制度面の改善も必要である。

4.1.3 有効幅員 最も混雑が予想される駅側階段の有効幅員(3,000 mm)と、ピーク時の利用者数⁸⁷⁾を設計基準(1979年施行)に照査した結果、基準値(2,250 mm)は満たしている。しかし、幅員の狭さや雨天時の混雑への指摘が多く、今後の後楽地区の昼間人口の増加を

考慮すると、設計基準が利用実態に即していないといえる。また、駅から同地区への歩行経路が一つしか確保されていないため、経路の拡幅とあわせ、迂回経路の設計も必要である。

4.2 施設利用実態と地域生活圏 回答者の日常的に利用する施設のプロットを行い、地域生活圏についての考察を行った(図4)。

新宿区回答者の96.9%が神楽坂などの同地区内で施設を利用し、越境を伴う施設利用を行っていない。また、越境を伴う他区での施設利用に着目すると、後楽2丁目と千代田区からそれぞれ288人と87人が新宿区側へ日常的な施設利用を行っており、特に銀行利用目的が多い。このように飯田橋駅周辺地域は、新宿区側に依存した地域生活圏が形成されているといえる。

一方、文京・千代田の両区では複数の再開発事業が検討中であるが、施設利用実態は歩行空間の状況により影響を受けると考えられ、地域生活圏に基づく交通施設整備を伴った開発の必要が指摘できる。

4.3 飯田橋駅の問題点

4.3.1 駅周辺空間の管理主体と評価 回答者の駅・駅周辺に関する問題点は、利用改札口の東西に関わらず、「ホームと電車の間隔」、「東口ガード下の環境」の2点に集中した(図5)。また、駅前広場の整備状況や駅舎のデザイン、放置自転車に対する不満も高い。各空間の管理主体が複数の行政区や鉄道事業者によって異なり、一体的な整備が行われにくいという現状が、利用者の不満の高さに表れている。

4.3.2 駅前広場面積の検討(表2) JR飯田橋駅の乗降客数、バス路線数等から必要とされる駅前広場の面積を算定したところ^{88,89)}、歩行者用面積、車両用面積共に現状が算定値を下回った。駅前広場整備の必要性が指摘できるが、東京都や千代田区の所有地、鉄道事業

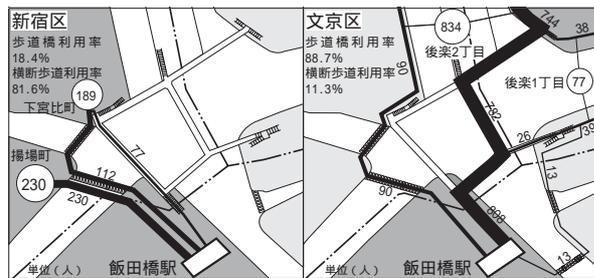


図2. 交差点利用者の歩行経路

満足度	新宿区	千代田区	文京区	合計	満足、1日に1,2回	どちらかという満足2-3日に1,2回	どちらでもない1日に1,2回	どちらかという不満足	半月に1,2回	不満足、月に1,2回	使用しない
歩道橋	11	38	28	16	N=865						
利用頻度	8	51	22	15	N=627						
	8	16	31	39	N=1,488						
歩道橋	8	14	13	41	N=949						
利用頻度	7	11	27	48	N=762						
	7	11	10	11	8	12					

図3. 交差点利用者(新宿・千代田・文京)の評価

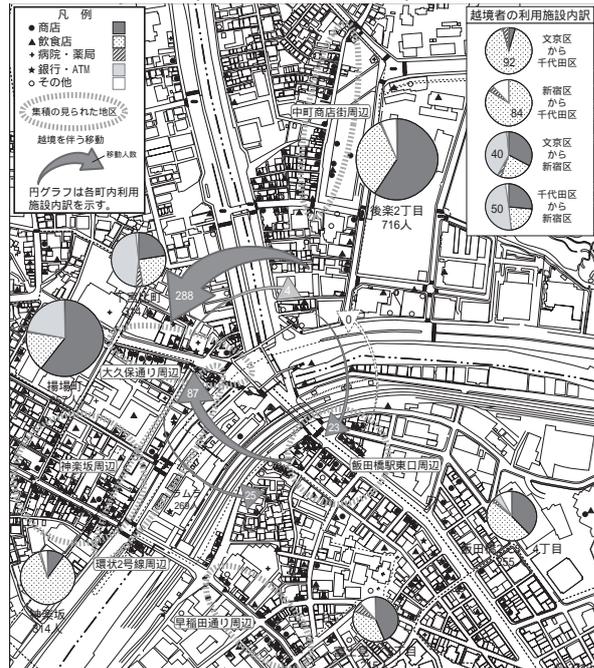


図4. 飯田橋駅周辺地域の利用施設と越境を伴う施設利用



図5. 飯田橋駅・駅周辺に関する評価
表2. 必要駅前広場面積と現状との比較

	算定値(m ²)	現状(m ²)
歩行者用面積: S ₀	西口:217 東口:434	西口:118 東口:230
一般公衆の利用部分面積: S ₂	西口:43 東口:372	
バス用面積: S ₃	622	
タクシー用面積: S ₁	803	120
自家用車用面積: S ₄	0	
総面積: S	2,567	468
回送用車道面積を除いた場合	1,367~1,967	-

参考: 東京都統計年鑑(平成16年)、第4階東京都都市圏PT調査、飯田橋・富士見地域まちづくり協議会資料(西口と東口の乗降客数の比は1:2とする)

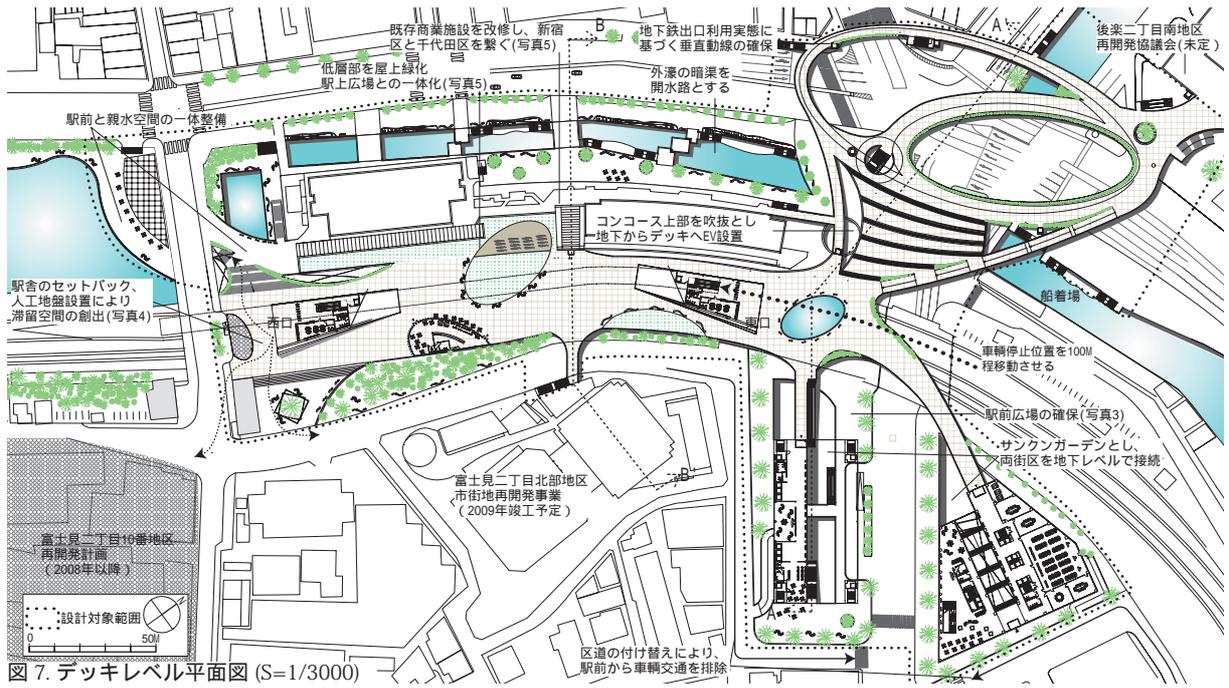


図 7. デッキレベル平面図 (S=1/3000)

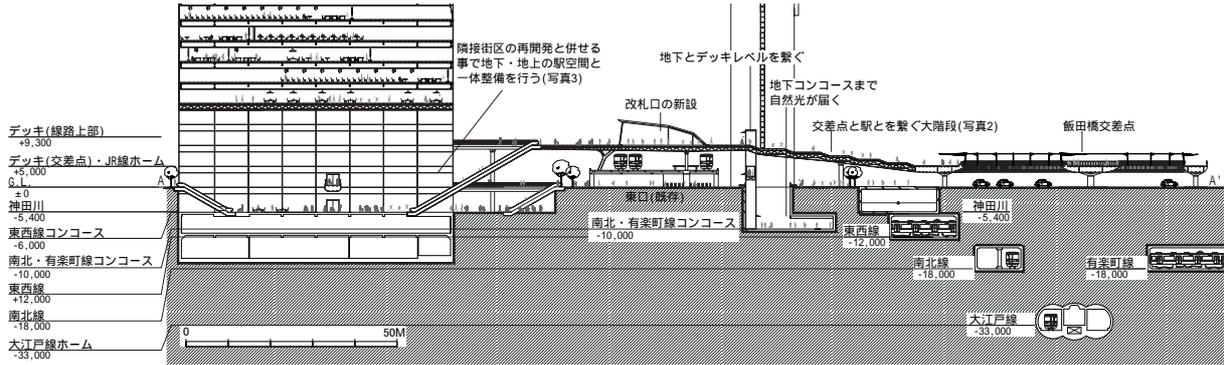


図 8.A-A' 断面図 (S=1/1800) (高さは階段の踏上と段数から算定)

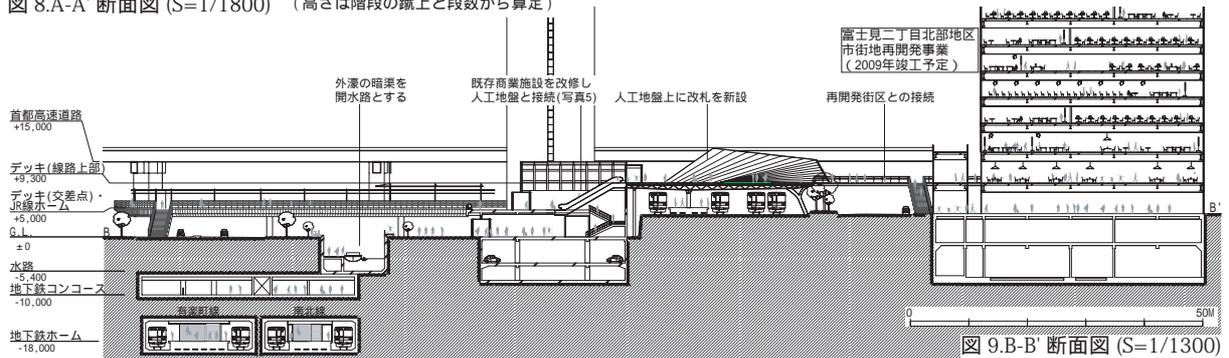


図 9.B-B' 断面図 (S=1/1300)



写真 3. 隣接街区を利用した駅前広場



写真 4. 飯田橋駅西口俯瞰

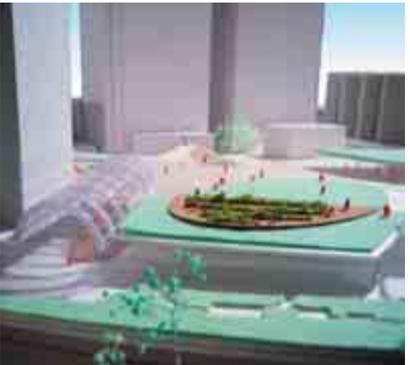


写真 5. 既存商業施設の改修部分